



発行
平成27年10月5日
第 55 号
豊明市立沓掛中学校
PTA広報部

鍛錬千日之行 勝負一瞬之行

校長 原 純夫

八月三日の出校日に、愛知地区支所大会や愛日大会、吹奏楽コンクールの表彰伝達を行いました。伝達後の講話の一部です。「試合に勝ち負けは付きものですが、結果に関わらず、皆さんの年代は、試合を重ねる度に上達するし、たくましさが増して強くなる。経験することは、人を大きく成長させるものだ改めて感じました。初戦で負けてしまった部もありました。悔しい気持ちもあったと思います。しかし、負けたからといって駄目ということではありません。大切なことは、部活動を通して身につけた精神力や技術・体力、また仲間との関わり方などを、これからの人生に生かしていくことです。それができれば、部活動は大成です。」

さて、高校野球の個性あふれる名監督として名をはせた、徳島県池田高校の故 葛文也元監督が残された名言は「存じでしょうか。その言葉は、

「鍛錬千日之行 勝負一瞬之行」です。

二十五年ほど前、自筆の色紙を拝見したことがあります。大変達筆で感心しました。この言葉の解釈は様々な

ようです。「練習でいくら努力しても試合で結果を残さねば実力とは言えない」「千日の苦しい練習に耐えてこそ、一瞬の勝負に勝てる」等々。私は次のように解釈しています。

「日々積み上げる練習も、一瞬で終わる試合もいずれも修行である。練習も試合も全ては人間形成のために行っている」というものです。

今後、沓掛中学校の部活動は学校教育の一環として、人間形成を目標に行っています。これまでと変わらぬご理解とご協力をお願いします。



夏休みを終えて

PTA会長 山田 勇二

夏休みが終わり一年の半分が過ぎようとしています。各部は日頃の練習の成果を発揮し夏の大会を戦ってくれました。そこには喜びの涙、悔し涙があり、これまでいかに頑張ってきたのか感じることができました。みなさんお疲れ様でした。そして、日々指導して下さった顧問の先生、ありがとうございます。

夏休みは、地域の盆踊り等でお手伝いに参加する沓中生がたくさんいたと聞いてとても嬉しく心強く思います。地域の一人として地域の行事に関わっていく事は個人の人間形成にも、とても大切なことだと思います。これからも積極的に参加しましょう。

二期期が始まると体育大会や文化祭、...と、大きな行事がたくさんあります。一生懸命頑張った分、大きな思い出となり、将来必ず役に立ちます。中途半端にあきらめず、毎日コツコツと小さな事の積み重ねることが大切です。

また、世間では七月に岩手でいじめ自殺、八月には大阪で殺人事件が起きています。沓中生の皆さんは、いつも大きな声で挨拶をしてくれて、たのしく思いますが、「他人を思いやる心」、「親に心配をかけない責任ある行動」を今一度考え、親子で話し合えると良いかと思っています。



【家庭教育推進市民大会】

8月22日(土)、豊明市文化会館において、家庭教育推進市民大会が行われました。大会の「少年の主張」では、沓掛中学校代表生徒2名が、自分の考えを堂々と発表することができました。また、アトラクションでは、沓掛中学校吹奏楽部が見事な演奏を披露しました。

「沓掛中学校代表生徒の発表」

三年 倉谷 壮真くん
「挫折から学んだこと」

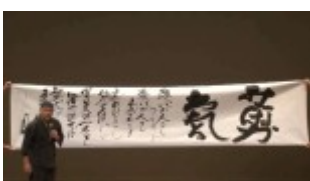


三年 木脇 未紗紀さん
「強くなれる」



市民大会には、多数の会員が参加し、文字職人の杉浦誠司氏の講演を聴きました。

杉浦誠司氏は「夢」という漢字と「ありがとう」という言葉を組み合わせて作った「夢・ありがとう」を代表作とする文字職人です。



文字職人「杉浦誠司」氏の講演背景の作品は「勇気」

「夏の大会 応援・体験レポート」

《剣道部》

山田 勇一

体育館の中はとても蒸し暑く、胴着をつけた選手の間には大変そうでした。女子の試合は残念ながら予選敗退。悔し涙からは熱い想いが伝わってきました。男子は決勝トーナメントまでいきましが初戦苦敗。しかし、正々堂々と大きな声で打ち合う姿は、どこにも負けていなかったと思います。日々指導してくださった顧問の先生、応援に駆けつけてくださった校長先生、ありがとうございます。そして選手、部員の皆さんお疲れ様でした。



《バスケットボール部》

小出 春美

試合中、たくさんの応援の声に包まれて選手やベンチメンバーは、とてもがんばっていました。沓掛のチームワークの良さでみるみる相手校に差をつけ一回戦は勝利！愛日大会出場決定です。二回戦では、先生のアドバイスを実践に守り、追い上げていきましたが、残念ながら敗退。しかし、沓中のベンチ選手や応援席は、相手校の応援に負けていなかったです。最後まで諦めず気を抜かずがんばっていた姿が感動的でした。

川添 有香

勝ち負けにこだわらず思いっきり楽しんで来い！」と先生に背中を押され中学生生活最後のコートに立った子どもたちの試合では、チームワークの「絆」を私たちが応援団に見せてくれました。結果は負けてしまいましたがとても良い試合をプレゼントしてくれました。一緒に涙し笑い合って過ごした二年半は子どもたちにとつて、とても良い思い出になったと思います。その培ってきた想いを糧に、それぞれの未来に向けて、綺麗な翼で羽ばたいていけると感じました。

藤肥 文子

愛日大会の切符を掴むための試合は、いつも緊張からか、立ち上がりが悪くドキドキ、ハラハラさせられます。応援席からは、先生や先輩、保護者が一丸となつて応援していました。残念ながら負けましたが成長した子どもたちの姿は輝いていました。厳しい練習を仲間と共に乗り越え、良い仲間にバスケットを通して出会えた事、そして、愛日大会まで連れて来てくれた男子バスケットに感動を沢山もらいました。心身共に育てて、指導して下さった顧問の先生、コーチに心から感謝の気持ちでいっぱいです。



村瀬 幸恵

引退試合終了のブザーと共に、涙あふれる子どもたちの活躍ぶりに大きな拍手を送りました。子どもたちのプレーに一喜一憂し、試合の度にハラハラ、ドキドキしてきた瞬間を親仲間と共感できた日々に幸せを感じました。

強みの「チームプレー」を生かし、教え通り「最後まであきらめない、強い気持ちで自分たちのバスケットができるチーム」に成長したと思います。最後のミーティングでは、先生や仲間たちとの強い、強い絆を感じました。

《サッカー部》

太田 景子

選手たちは、絶えず動き回り、悪戦苦闘している姿にとても感動しました。ゴールの瞬間や攻め上がって行く様は、一時も目を離せないほど、がんばっていました。強豪校相手に果敢に挑んで行く姿に、驚き、感動した試合でした。結果、決勝には行けませんが、その口惜しい思いを後輩たちが引き継ぎ、来年は、もっと強くなつてほしいと思います。



《柔道部》

高木 佳子

男子で怪我をして、途中で帰らざるを得なくなった子の分もみんなで頑張っていました。中一の頃から、それぞれ逞しく成長した中三の子たちが、下級生を引っ張っている姿に感動しました。次の大会でも頑張つて今までの練習を出し切れるようにいい試合をしてほしいです。

《卓球部》

深野 裕美

まるでドラマの様な出来事でした。準決勝、対長久手中戦。一番手、二番手が敗北。三番手のダブルスが勝利。沓中は、四番手、五番手とも勝たなければ敗退、勝てば愛日大会出場決定という場面でした。残る二組の試合が同時進行でおこなわれ、どちらもシーズンゲームで進んでいき、勝負は最終セットまで持ち越されました。会場中の選手、観客が見守る中、四番手が勝ちました。そして五番手が勝った時、私は大声をあげて立ち上がっていました。これ程興奮した試合は初めてでした。結果は準優勝でしたが、この日の思い出は彼らにとつて一生の宝物になるに違いありません。

石川 奈美子

会場内の声援はどの中学校も凄く、皆一生懸命応援している姿がみられました。我が子も最後の試合ということもあり私も自然と熱が入り、少しドキドキしながら見守っていました。結果は準優勝、涙がでるほど嬉しく、それと同時に愛日大会出場のキップまでいただき心から喜びました。三年間の部活動で得たもの、礼儀や挨拶、友情、試合での喜びや悔しさなどすべて子供達の財産になったことと思います。この経験を生かしてこれからの人生を頑張っていって欲しいと思います。

足立 美奈子

「愛日大会出場」を目標に毎日一生懸命に練習に取り組んできた男子卓球部。団体戦では、今まで勝つことの出来なかった対戦校を破り準決勝戦まで勝ち進んだ沓中。勝てば決勝進出とともに愛日大会への出場が決定する重要な試合では、プレッシャーの中で必至にプレーをする両

選手。真剣な眼差しでゲームの行方を見つめ一生懸命応援するチームメイト達。最後は見事に接戦を制した香中チーム。とても感動的でした。みんな一丸となつて手にした準優勝。愛日大会出場おめでとう。

《陸上部》

橋本 裕子

雨が降ったり止んだり、時折強風が吹くというコンディションの中、今日までの練習の成果を発揮して見事、県大会へ駒を進めた生徒の姿は、とても立派でした。しかし、思うような結果が出ず、悔しい思いをした生徒もいましたが、みんなそれぞれ頑張っていました。一緒に頑張ってきた仲間を一生懸命応援する姿を見ると、感動を覚えるのと同時に、個人競技でありながら団体戦でもあると感じます。保護者も頑張っている子ども達を見守り、惜しめない声援を送っていました。

《パソコン》

山内 ひとみ

部活動見学の日、先輩達のタイピングの速さに魅了され入部をした息子。一日も休まずひたすらタイピングの練習に励む日々。活動内容としては、かなり地味ではありますがありますが、三年生全員個々のスキルアップを目指し黙々と努力をしてきたことが息子の言動から伝わってきます。最終目標であったパソコン検定に合格し、最後の夏が静かに終わりました。優しく見守ってくださった顧問の先生に感謝いたします。三年間お疲れ様。そして検定合格おめでとう！



《バレーボール部》

福島 恵

三年間、寒い朝練にも、暑い夏休みの練習にも耐え、中学最後の夏の大会は負けて残念でしたが、皆とても頑張りました。一緒に汗を流し、涙をながした素敵なメンバー、そして時には厳しく時には楽しく、ご指導して下さった先生に感謝です。「ど根性」の部Tを着て、徹夜で作って下さった黄色いポンポンで応援している皆の頑張っている姿を見て感動しました。ありがとうございます。皆さんに感謝です。

《ソフトテニス部》

大城 悦子

三年生、最後の団体戦。娘はコートの横で声を出し、応援している姿を見て、三年間、部活を頑張った娘の成長を感じました。試合には、負けてしまいました。いろいろな事を勉強できた部活動だったと思います。

東 敦子

暑い夏も、寒い日も風の強い日も外で練習の子どもたち。夏は靴下を脱いでも、靴下をはいているような足。日焼けが気になるお年頃ですが、毎日、炎天下での練習を続けて、臨んだ試合。一生懸命声を出して応援する下級生にプレーで応える上級生。

一球入魂。

激戦区の中での戦い、お疲れ様でした。

一球入魂



《吹奏楽部》

深谷 貴子

みんな一生懸命で、きれいに演奏できていたと思います。結果は銀賞で少し悔しかったようですが、まとまっていたと思います。他校に比べると、人数が少ないので、少し迫力が少ないかなという気はしました。

加藤 寿子

悔しい思いをした中日大会。今度こそは「金賞を！」と、子どもたちは心をひとつに合わせ、朝日大会に望みました。強豪校が続く中、いよいよ演奏です。子どもたちの緊張は、応援席にも伝わっていました。出だしの音はそろった、この調子で！と祈り続け、最後まで無事に演奏を終える事ができました。今まで聞いた中で、一番素晴らしい演奏ができたと思います。子どもたちを指導して下さった先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。



《ソフトボール部》

林 友子

緊張した表情の子どもたち……。昨年のこの大会で悔しい思いをした三年生は、この日の勝利のために一年間、厳しい練習に耐えがんばってきました。一試合目、『ナイスバッティング！』の声が何度となく聞こえてきて勝利！たくさん笑顔が見られました。二試合目、今度はなかなか思うように打てず、不安と焦りの表情がみられるなか、声をかけ、励ましあう子どもたち。グラウンドもベンチもひとつになつて

最後まで、あきらめず涙をこらえてがんばる子どもたちの姿に、胸が熱くなりました。



《野球部》

井上 智晴

子どもたちは、先生方の熱心なご指導のもと、最後の大会に向けて休みなく練習に励んできました。その練習により、愛日大会などに勝ち残れる力が付いてきました。子どもたちも、「努力した人が強くなれるんだ」という事を、身をもって体験でき、今後の生き方に対しても、大変よい勉強になったと思います。先生方には、大変感謝しております。

夏休み中 体育大会「応援準備&練習」

※ブロック名、団長からの一言、◇応援旗について 赤【剛虎炎斬(こうこえんざん)】 全員が本気でやり、声の迫力、踊りの斬れが、見どころです。 ◇紅の炎を纏いし白虎が、牙を剥き、勝利という高みを翔ける。その神しき姿に平伏せよ！	桃【桜姫乱鶴(おうきらんかく)】 今までの練習の成果を出しきり、沓中の伝説になります！ ◇悠久の時を越え、鶴が舞い、可憐な桜の精が降臨す。 さあ、今こそ我に勝利を捧げよ！	黄【光舞驚麗(ひまわり)】 ひまわりのように美しく、驚のように逞しい演技をし、学校中を圧倒させます。 ◇光輝く大空の王者降臨！強く逞しい荒鷲が敵を蹴散らし圧倒的な強さで優勝へと導く！	青【蒼氷海賊(バイレーツ)】 海賊を意識した演技を全員で一生懸命、考えました。バイレーツ魂、見せ付けます！ ◇未知なる大海原に勇気を引つ提げ、挑む者達よ！勝利と云うお宝を掴み取れ！	橙【橙龍舞翔(とうりゅうぶしょう)】 オリジナリティがあふれる演技に注目して下さい。旗にも自信があります！ ◇遙かなる高みより見降ろすは、絡みあう二頭の橙龍 最強の加護受け、勝利は約束された。あとは己を信じるのみ！	緑【翠凛輝夜(すいりんかぐや)】 凛とした美しさで、沓中を魅了する為に、美しく、かつこいい演技を考えています。 ◇満天に輝く月より美しい姫よ 貴女に最高の宝玉今日の勝利を贈ります！
--	---	---	--	---	--



P T A 前 期 活 動 報 告

4月11日	新旧合同委員会
16日	平成27年度PTA総会
5月8日	豊明市小中学校PTA協議会
9日	PTA第1回役員会、委員会
15日	携帯安全教室
28日	学校安全緊急情報共有化 広域ネットワーク活用訓練
6月17日	県P連総会
6/17~19	PTA挨拶運動
20日	愛知地区教育対話集会 「21世紀をにう子ども たちのために」
23日	PTA下校指導
27日	PTA第2回役員会、委員会
7月5日	市P連第1回役員会
7/11~31	部活動 夏の大会応援 (支所大会、愛日大会等)
7/20~8/31	各地区街頭指導
8月19日	市P連教育講演会 講師：長島りょうがん氏 演題「そっと やさしく」

10月28日(水)文化祭・文化的事業



〈場 所〉
沓掛中学校 体育館
〈時 間〉
13:35~15:10



「落語なんて古い!!」と思われていませんか。
とんでもない!! きっと皆さんも夢中になります!是非、ご参加下さい。

文化部・事務局より

■編集後記■

PTA新聞「楠の木」発行にあたり、ご多忙にも係らずご寄稿頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。今年度は前期・後期と2回発行する予定です。メンバー一同ゼロからのスタートで戸惑いながらもやっとの思いで完成致しました。お子様と保護者の方が一緒にご覧いただける「楠の木」を発行していけるように頑張っていきたいと思ひます。よろしくお祈りします。

広報部 一同

沓中ホームページアドレス

<http://www.toyoake.ed.jp/kutsukake-jhs/index.htm>